



平成 31 年 1 月 31 日(木)
練馬区立開進第四小学校
校 長 河 崎 晃 二

開四小だより

2月号

たすきをつなぐ

校 長 河 崎 晃 二

今年は2月4日が「立春」です。暦の上では、春になります。少しずつですがあたたかくなり、木々の芽も少しずつ膨らんでいきます。生き物も春に向けての準備を始める時期です。「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と季節の変わり目がありますが、その前日を「節分」と言い、江戸時代から「立春」の前日だけを「節分」というようになったそうです。ある意味、1年の始まりと、終わりということもできますね。

「節分」には、家から鬼を追い払うために、豆まきをするという伝統行事があります。ご家庭でも豆まきをされているところも多いかと存じます。諸説あると思いますが、その一説として、季節の変わり目には邪気（鬼）が生ずると考えられており、その邪気を追い払うために、豆をまくということだそうです。「鬼は外、福は内」という掛け声も出しながら、1年無事に過ごせますようにという願いを込めて、家族みんなで豆まきをされてはどうでしょうか。

*

さて、学校では大きな行事はほぼ終わり、1年間の学習のまとめをし、卒業式に向けて全校あげて準備を進めていく時期となりました。そして、2月は「たすきをつなぐ」季節でもあります。とりわけ、6年生から5年生へつなぐたすきはさまざまあり、その一つになかよし班遊び（異学年縦割り班活動）があります。1月23日に今年度最後のなかよし班遊びがありましたが、5年生が中心となって計画を立て実施しました。5年生は、事前に「6年生のすごいところを学ぼう」ということで、なかよし班遊びや委員会等で活躍する6年生の様子をよく見るようにしていました。そして、実際に6年生に計画の立て方や進め方、配慮することなどをクラスごとに聞く時間を設け、アドバイスを受けました。もちろん、なかよし班遊び当日は、どの班も楽しく活動することができました。

これから、委員会活動やクラブ活動などにおいても、これまで先頭に立って活躍した6年生が5年生へとたすきをつないでいきます。2月27日に開催する「6年生を送る会」では5年生が中心となって、6年生に感謝の気持ちを伝えます。特にたすきを受け取る5年生は、目に見える仕事だけでなく、会を支える見えない仕事にも心を込めて準備に当たることでしょう。また、たすきを渡す側の6年生は、どのようなメッセージを下級生に伝えるのか。また、卒業までの残り少ない日々の中で最上級生としての姿をどのように見せるのか。一人一人が開四小のことを思い、考えていることでしょう。私は今年度着任し、開進第四小学校にこのような素晴らしい伝統があることをあらためて再認識しました。そして、とても誇らしく思いました。